



第41号

木曾川町連区



# 地域づくり協議会だより

【発行日】令和元年11月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会  
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005  
【メールアドレス】k-chiki@orihime.ne.jp  
【ホームページ】http://138kisogawa.org 木曾川町連区で検索してね♪



↑  
こちらからどうぞ

## 敬老会が開催されました

一宮市社会福祉協議会 木曾川町支会

令和になって初めての木曾川町連区敬老会が9月7日(土)木曾川体育館で開催されました。今年度の対象者(75歳以上)は4567名でした。会場への入場者数は900名、一般観覧席にも200名が来られました。



連区長の挨拶から始まった式典は、一宮市長や市議会議員などの方々からお祝いの言葉を頂きました。また、一宮警察署より“空き巣や特殊詐欺防止”の講演会には、皆さん神妙に耳を傾けられていました。



敬老会のアトラクションは“石狩挽歌”を大ヒットさせた北原ミレイの歌謡コンサートでした。愛知県豊川市出身のデビュー50周年の実力歌手らしく、持ち歌に美空ひばりの歌を加え、客席に降りて参加者のみなさんとの軽妙なやり取りは、会場を笑わせ、和ませ、あっという間の1時間でした。



会場設営や受付など、町会長や民生児童委員をはじめボランティアの皆さんお疲れさまでした。ボランティアの木曾川中学校の生徒の皆さん、いつもありがとうございます。来年もよろしくお願ひします。





## 一豊まつりが開催されました

木曾川商工会

9月15日(日)「一豊まつり」が開催されました。呼び物の戦国時代パレードは、一豊、千代を始め主役の皆さんや戦国武将隊、金管バンドなど各チームが華麗に、勇壮に、35度を超える猛暑にも負けず、沿道を練り歩きました。

出雲から堀尾吉晴公と武者隊が、岐阜からは信長公おもてなし武将隊も参陣するなど、昨年以上に戦国時代色豊かなものとなりました。

鮎のつかみ取りでは、捕った鮎をその場で塩焼きにしてほおばれることが人気を呼び、大行列となりました。

また当日は、まつり会場がゴールとなるJRさわやかウォーキングが実施され、約2300名を超える観光客が訪れるなど、イオン・アピタ会場を含め、終日多くの家族連れで賑わいました。



最後に、事故もなく盛況の内に終えることができましたことは、ひとえに地域の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。



## 防災訓練が開催されました

木曾川町連区町会長協議会

昨年度は台風24号のため中止となりました防災訓練も、今年で6年目となり9月29日(日)5回目の訓練を開催することが出来ました。



今年は、愛知県の地震体験車「なます号」で震度7強の体験ができるということから、恐怖心・好奇心など複雑な思いのなか参加者全員が体験(20秒)をしました。「キャーキャー」という悲鳴の声を聴くことは稀でした。「これから震度7強の地震体験を行いますので、しっかりとテーブルをつかんでください」のアナウンスのあと開始されるので、体験者の準備ができていたからだと思います。

実際には壁にあるタンスや本棚、テレビなどが散乱するということもなく、ただひたすらテーブルをつかんでいたということで、集中力が一点に絞られ「パニック状態」にならなかったということも大きいかと思えます。しかし、報道や講演などで聞いているとおり、最初にドドンと突き上げる上下動(P波)があり、続いて大きな横揺れ状態(S波)になり、身体が金縛りになったのには驚きました。「備えあれば憂い(患い)なし」といいますが、家具の固定は非常に大事だと再認識しました。



この他、「炊き出し訓練」「応急救護訓練」「避難所生活豆知識」「家具等転倒防止コーナー」を行いました。これら訓練は、資材・材料・道具などすべてが用意された中での訓練ですが、実際の災害時は身近にあるもので代用しなければならないことを念頭にした訓練を想定したものです。貴重な水をいかに少なく使いご飯を作るか? タオルで全身を清めるか? 毛布と縄のみで体を隈なく包み暖を確保するか? などの基本を練習しました。毛布での担架(担架は負傷者の頭をやや上にする)やラップを使った骨折手当などの基本です。実際には毛布の代わりにシャツを使用するとかラップの変わりにタオルや紐で代用できないか? など基本が出来ていれば、対応できるということも学びました。

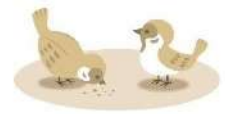


今日からできることは、**家具の転倒防止対応**と最低でも**三日分の非常食の確保**です。訓練で学んだ知識と対策を基に準備を始めましょう。



## 「第2回 雀のお宿 野外音楽祭」を開催しました

10月6日（日）、すばらしい秋晴れの下、木曾川緑地（雀のお宿）公園にて木曾川町連区地域づくり協議会・イタセンパラ生息地保存会主催「第2回 雀のお宿 野外音楽祭」が開催されました。



開会直後は強い陽射しが照り付け、汗ばむ陽気でしたが、プログラムが進むにつれて会場には木曾川を渡る爽やかな秋風が吹き抜け、野外音楽祭ならではの雰囲気になりました。

今回の音楽祭には

- 一宮ジュニアウィンドオーケストラ
- 一宮児童合唱団「きそがわKIDS」
- 木曾川ライトソングクラブ
- 濃尾プラスソサエティ
- 木曾川合唱団
- THE BISHU JAZZ ORCHESTRA  
（プログラム順）

の6団体にご出演いただき、ポップスあり、フォークあり、ジャズあり、合唱あり、さまざまなジャンルの音楽を演奏していただきました。また、出演団体の世代もさまざまであり、会場を訪れた人々それぞれの世代にとって馴染みのある曲、聞き覚えのある曲が演奏されるので、聴きやすく親しみやすい音楽祭となりました。



演奏の間には、訪れた子どもたちや出演を終えた子どもたちが「雀のお宿」をテーマにしたクイズラリーに参加し、解答後には歓声を上げながらお菓子のつかみ取りに挑戦していました。また、バルーンアートのコーナーでは、「〇〇作って!」とリクエストする子どもたちが列をなし、大いに賑わっていました。



最終プログラムのころには、すっかり夕暮れに包まれ、涼風に溶け込む心地よいジャズの調べが聴衆を魅了しました。この雰囲気は、野外音楽祭でしか味わうことができないものです。

今回も来場者に音楽祭を楽しんでいただくために、早朝からの会場設営や暗闇の中での撤収、駐車場誘導や来場者案内、飲料販売、子どもコーナーなど、主催団体以外の大変多くの方々にご協力いただきました。ご協力いただいた里小牧区町会長会をはじめ、木曾川緑地を守る会、木曾川文化・スポーツクラブ、木曾川文化創造ワークショップのみなさまには厚くお礼申し上げます。大変ありがとうございました。